

経営比較分析表（令和6年度決算）

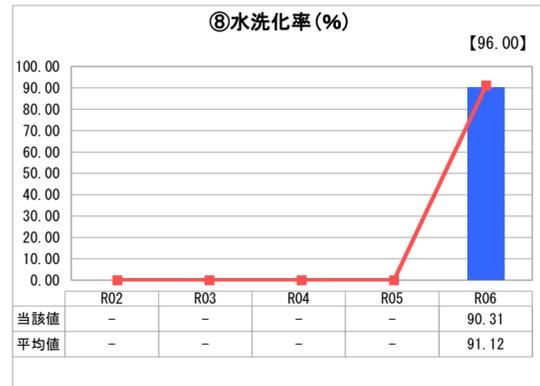
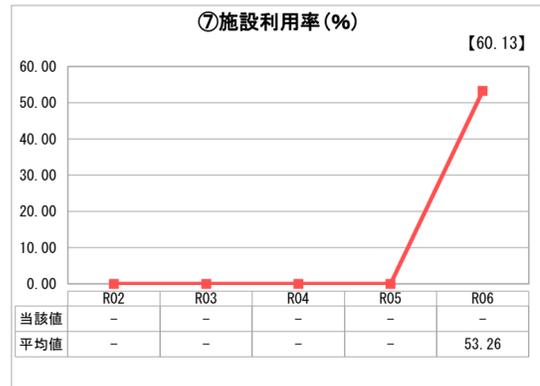
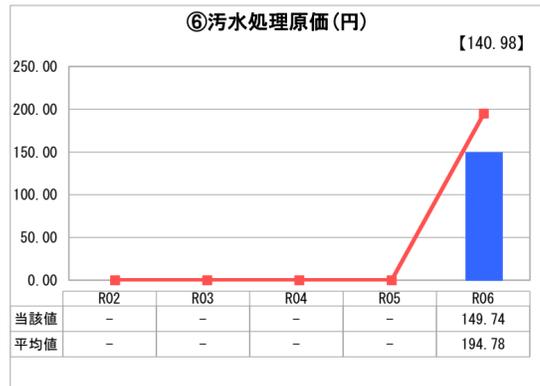
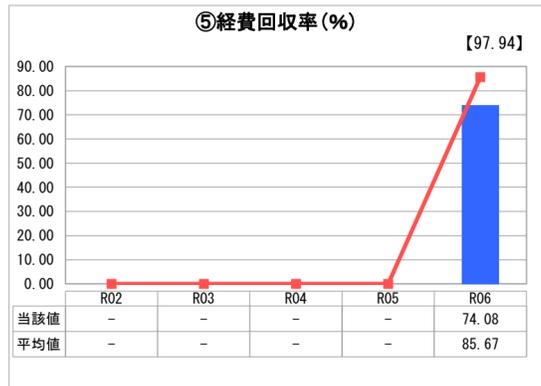
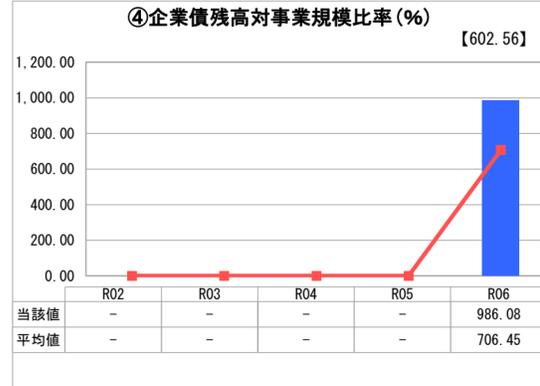
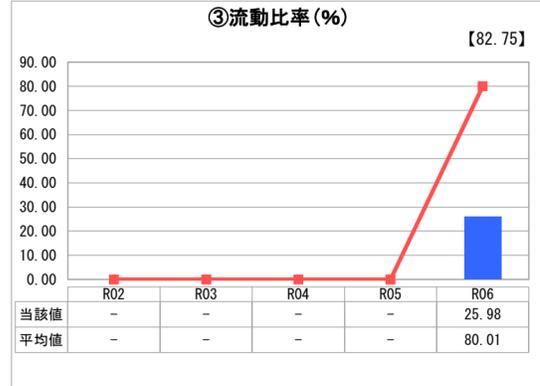
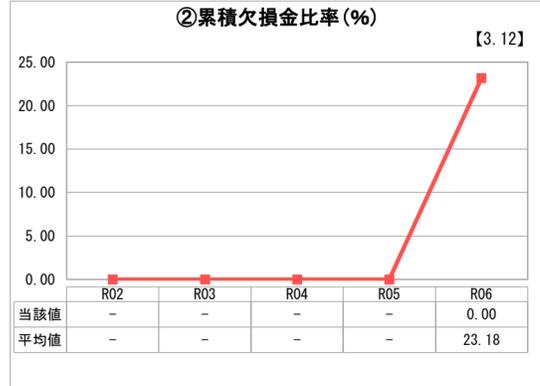
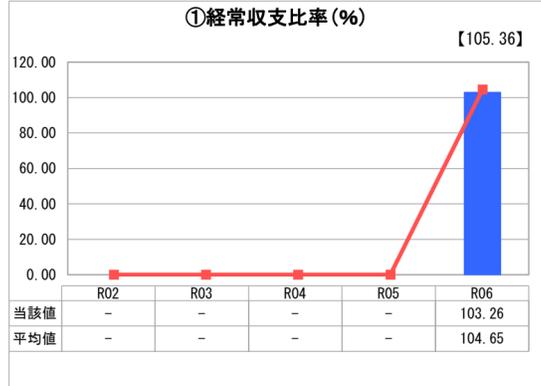
神奈川県 山北町

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法適用 | 下水道事業 | 公共下水道 | Cd1 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 66.50 | 83.87 | 89.10 | 1,727 |

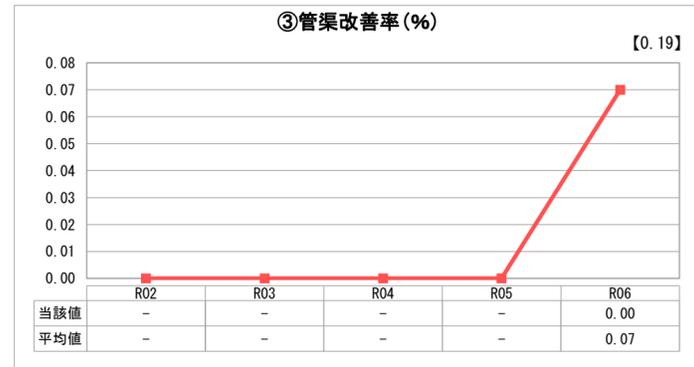
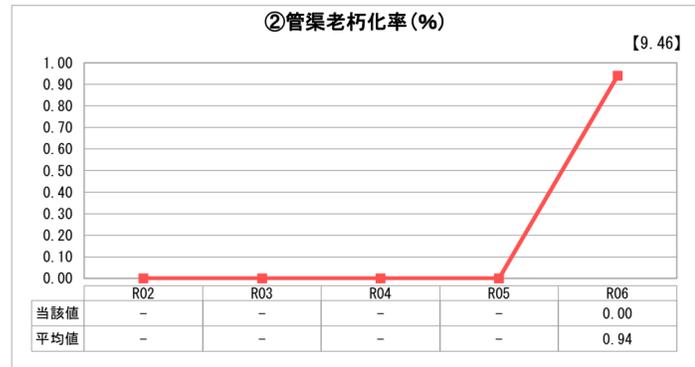
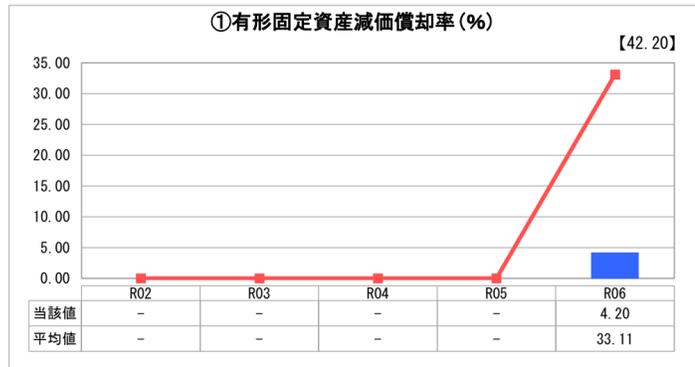
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 9,263 | 224.61 | 41.24 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 7,706 | 3.18 | 2,423.27 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値（当該値） |
| — | 類似団体平均値（平均値） |
| 【 | 令和6年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年4月に公営企業会計に移行したため、前年度以前の数値は表示されていません。

①経常収支比率は、類似団体平均よりやや低いものの100%を超え、単年度収支が黒字であることを示していますが、一般会計からの繰入金に頼っている状況になります。

②累積欠損金はないため、経営状況は比較的健全と言えます。

③流動比率は、類似団体平均を下回っております。これは1年以内に償還する企業債の金額が大きいため不足分は一般会計からの繰入金に頼っている状況になります。

④企業債残高対事業規模比較は、類似団体平均より高いものの、企業債償還額を超える借入を行っていないため、今後、減少していくことが見込まれます。

⑤経費回収率は低く汚水処理に係る経費を賄っていない状況であるため、今後、使用料収入の改善を図る必要があります。

⑥汚水処理原価は、類似団体平均より低く他団体と比較すると効率的な処理となっています。

⑧水洗化率は、類似団体平均と同程度の水準であり、今後、使用料収入の更なる増加に向け、水洗化率向上のための啓発等を行ってまいります。

2. 老朽化の状況について

当町の下水道は、平成2年9月に供用開始しましたが、それ以前に整備された管渠は、この先10年程度で耐用年数を迎えるため、既存の管渠や施設の適正な維持管理と点検、及び老朽化した管渠の更新を進められるよう、令和3年度にストックマネジメント計画を策定しました。今後は同計画に基づき計画的に更新してまいります。

全体総括

経常収支比率は100%に達していますが、一般会計からの繰入金に頼っており、さらに経費回収率は、100%に達しておらず、今後はより厳しい経営状況となるが見込まれます。

また、一定時期に集中して管渠の布設を行ってきたため、その更新時期が重なることや維持管理費用の増大が見込まれることから、効率的な更新と維持管理を行えるようストックマネジメント計画を策定しました。

経営面では、長期的な収支状況を把握するため、今後、使用料の見直し等を検討するなど、下水道運営審議会を継続して行っていく予定です。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。